

2. 熊本地震の概況

2-1. 被害の状況

熊本地震は、2016年4月14日21時26分に発生したM6.5の前震と、2016年4月16日1時25分に発生したM7.3の本震という、強い地震が同じ地域で28時間の間に二度も発生したものであり、前震・本震とも最大で震度7を観測し、熊本県内に大きな被害を及ぼした。また、これらの前震・本震以外にも、最大震度5弱以上の強い余震が繰り返し発生した。

地震による熊本県内の住家被害を次ページ表2-1の左部に示す。県全体では全壊8,642棟、半壊34,389棟、一部破損155,230棟が生じており（2025年4月11日現在）、全体では約19万8千棟の約21万5千世帯に被害が発生している。全壊・半壊棟数を市町村別にみると、合わせて1,000棟以上の被害が発生しているのは、熊本市（17,675棟）、益城町（6,259棟）、宇城市（2,935棟）、御船町（2,841棟）、宇土市（1,863棟）、南阿蘇村（1,688棟）、大津町（1,526棟）、西原村（1,377棟）、甲佐町（1,091棟）であり、これら9市町村の被害で県全体の86.6%を占める。

2-2. 応急仮設住宅の供与状況

これらの被害を受けて供与された、応急仮設住宅の戸数は、次ページの表2-1の中央部の通りである。

建設型の応急仮設住宅は、16の市町村で計110団地・4,303戸が整備されている。仮設住宅団地の平均規模は39.12戸/団地である。最も多いのは益城町の1,562戸であり、このうち516戸を占める「テクノ仮設団地」が最も規模が大きい。

借上型の応急仮設住宅（いわゆる「みなし仮設住宅」）は、県全体では最大で14,923戸への入居がなされている（2017年5月の時点）。市町村毎の供与数ははっきりとはしていないが、市町村の災害・復興記録誌や復興計画などの記載で戸数が把握出来たところでは、熊本市が最大9,916戸となっており、全体の6割強を占める形となっている。次いで多いのは、建設型の戸数も多い益城町（1,379戸）である。

建設型の建設数と借上型の最大供与数とを比較すると、比率では建設型が22.4%、借上型が77.6%であり、後者が前者の3.47倍と借上型の方が圧倒的に多い状況がみられる。ただし、市町村によっては、西原村や嘉島町など、建設型の戸数の方が借上型の戸数よりも多いところもあり、地域によって差がみられる。

2-3. 災害公営住宅の供給状況

被災者向けに整備された災害公営住宅の戸数は、次ページ表2-1の右部に示す通りである。県全体では12の市町村で計68団地・1,715戸が建設されている。団地の平均規模は25.22戸/団地であり、建設型の応急仮設住宅よりも規模が小さいこととなる。最も多いのは益城町の671戸、次いで熊本市の326戸となっている。宇土市の1団地25戸、美里町の2団地10戸など、整備戸数がごく少ないところもみられる。

このほか、供与を終了した木造の応急仮設住宅について、県が2戸1化などの改修等を行った上で市町村に譲渡し、公営住宅法に基づくものではない市町村営住宅＝単独住宅として市町村が被災者に提供したものもある（表2-1の「単独住宅」の項）。市町村の公表する情報等から把握で

きた範囲では、9つの市町村の計21の団地でこのような木造仮設住宅を改修した単独住宅が用いられているとみられる。災害公営住宅が整備されており、これと合わせて単独住宅での被災者の受け入れを行う市町村が中心であるが、災害公営住宅よりも単独住宅の方が団地の数が多いところもある（宇土市、美里町）。一方で、災害公営住宅は整備されておらず、単独住宅のみが供給されている町村もみられる（産山村、山都町、氷川町）。

このような状況からすれば、単独住宅は災害公営住宅を補完している、あるいは代替しているものとみることができる。その意味では、災害公営住宅と同等のものとして意向調査や供給計画の中で取り扱われているものと思われるが、単独住宅に関しては十分な情報がない場合が多いため、本研究においては基本的には取り扱わないものとする。

表 2-1 熊本地震での被害状況、応急仮設住宅及び災害公営住宅等の供給状況

市町村	被害状況						応急仮設住宅			災害公営住宅		単独住宅 (木造仮設改修)	
	全壊		半壊		一部破損		建設型		借上型	団地数	戸数	団地数	戸数
	(棟)	(世帯)	(棟)	(世帯)	(棟)	(世帯)	団地数	戸数	戸数※				
1 熊本市	2456	5745	15219	47754	105086	82544	9	541	9916	8	326	-	-
2 宇土市	116	116	1747	1749	4390	4390	6	143	346	1	25	2	26
3 宇城市	539	539	2396	2396	5673	5673	6	176	507	10	181	3	43
4 阿蘇市	108	118	857	857	1610	1610	4	101	157	4	71	-	-
5 美里町	19	19	284	284	694	694	3	41	3	2	10	2	27
6 大津町	154	127	1372	1437	3831	3922	6	91	200	4	74	-	-
7 西原村	512	512	865	865	1097	1097	5	312	165	2	57	1	50
8 南阿蘇村	699	699	989	989	1171	1171	8	401	1068	4	94	-	-
9 御船町	444	444	2397	2397	2178	2178	21	425	332	7	100	4	66
10 嘉島町	234	307	565	647	1462	2127	11	208	130	4	54	-	-
11 益城町	3026	3552	3233	3893	4325	4956	18	1562	1379	19	671	1	6
12 甲佐町	105	114	986	1067	914	927	6	228	35	3	52	-	-
参考 菊陽町	15	15	672	672	5153	5153	1	20	128	-	-	-	-
参考 産山村	12	12	46	46	180	180	2	9	未確認	-	-	2	7
参考 山都町	16	18	247	252	529	536	1	6	13	-	-	*4	*19
参考 氷川町	35	40	194	200	813	813	3	39	24	-	-	3	39
県全体	8642	12549	34389	67948	155230	134804	110	4303	13335	68	1715	21	277
出典	熊本地震等に係る被害状況について【第356報】 2025.4.11 現在						応急仮設住宅建設記録誌		市町村記録誌等	熊本県災害公営住宅整備記録	市町村公表情報等より整理		

※戸数は最大値

*移築を含む

(出典・参考文献)

- ・熊本県危機管理防災課：平成28(2016)年熊本地震等に係る被害状況について【第356報】，2025.4.11
- ・熊本県建築住宅センター：平成28年熊本地震応急仮設住宅建設記録誌 熊本地震仮設住宅はじめて物語，2019.3
- ・熊本県土木部建築住宅局住宅課：平成28年熊本地震 災害公営住宅整備記録，2021.8